

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 268 号	氏名	三原裕美
学位審査委員	主査 田口 尚 副査 下川 功 副査 高村 昇		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 血管内皮細胞の増殖・成熟因子であるAngiopoietin(Ang)とその受容体であるTie-2の発現を、肝外胆管癌において検索し、癌の進展や予後との関連を検討したものであり、研究の目的は妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 ヒト肝外胆管癌119症例についてAng-1, Ang-2 および Tie-2を免疫組織化学的に検索し、臨床病理学的指標や予後との相関について検討している。また、手術凍結標本とヒト胆管癌細胞株を用いたRT-PCR法による発現も検討しており、その研究手法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析考察の評価 上記手法で解析した結果、癌細胞ではAng-1とTie-2が過剰に発現しており、正常粘膜との鑑別に有用であることを示した。また、Tie-2の発現は、浸潤様式、Stage分類あるいは生存率とも相関しており、肝外胆管癌患者の予後予測に有用であることが示唆され、その解析や考察も高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は肝外胆管癌の研究に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			